

事業番号	05 02 09	事業改善シート（27年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	長野県アイバンク・臓器移植推進協会活動支援事業					担当課	部局	健康福祉部	
							課・室	医療推進課	
総合5か年計画	プロジェクト					E-mail	iryo@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり 4 医療施策の充実				実施期間	～		

1 事業の概要

目指す姿	長野県アイバンク・臓器移植推進協会は、臓器移植法に規定されている眼球あっせん（コーディネート）業務を、県内で唯一認められている団体であり、臓器移植の普及啓発等の公益性の高い事業も行っている。県内の角膜移植及び臓器移植の推進に重要な役割を果たしている当団体に支援を行い、臓器不全に苦しむ方々の根治治療である移植医療を推進する。	
現状（予算編成時）	事務局：長野市医師会館内 職員：常務理事兼事務局長、非常勤職員 設立：平成元年10月（財）長野県腎バンクとして設立、平成6年10月に（財）長野県腎バンク・アイバンク協会に組織変更、平成10年4月に（財）長野県アイバンク・臓器移植推進協会に改称、平成22年4月に公益財団法人へ移行 主な業務：眼球提供者の登録管理及び角膜のあっせん・コーディネート、臓器移植に関する知識の啓発・普及啓発及び関係団体等の連絡・調整等	

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 臓器移植に関する法律
	県民との協働による実施：実施は困難	

成果目標・事業内容	① 成果目標（H27）				
	角膜のあっせん及び臓器移植の普及啓発により、臓器不全に苦しむ方々の根治治療を推進する。 （H27目標：移植眼数 22眼）				
	② 事業内容 （単位：千円）				
		項目	実施方法	H27事業実績	
			H27		H28
			（当初）	（決算）	（当初）
	長野県アイバンク・臓器移植推進協会活動支援事業	補助金	運営費（職員人件費補助）		3,754
			3,725	3,725	
		合計	3,725	3,725	3,754

事業コスト	区分（単位：千円）						成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越					項目	H26末（実績）	H27			H28目標		
		当初予算	3,679	3,684	3,725	3,754			目標	成果	達成状況			
		補正予算							移植眼数	21眼	22眼		24眼	達成
		合計(A)	3,679	3,684	3,725	3,754								
	Aの財源	一般財源	3,679	3,684	3,725	3,754								
		県債												
		国庫支出金												
		その他	0	0	0	0								
	決算額(B)	3,679	3,684	3,725										
概算人件費	職員数(人)	0.08	0.08	0.08	0.08									
	概算人件費(C)	661	661	661	661									
概算事業費(B(A)+C)	4,340	4,345	4,386	4,415										

目標に対する成果の状況	臓器移植法に規定されている眼球あっせん（コーディネート）業務を県内で唯一認められている団体であり、臓器移植の普及啓発等の公益性の高い事業も行っている。県内の角膜移植及び臓器移植の推進に重要な役割を果たしている当団体に支援を行い、臓器不全に苦しむ方々の根治治療である移植医療を推進した。 成果目標について、今年度から「眼球登録者数」から「移植眼数」へと見直し、目標を達成できた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	臓器移植法に規定されている眼球あっせん（コーディネート）業務を県内で唯一認められている団体であり、臓器移植の普及啓発等の公益性の高い事業も行っている。県内の角膜移植及び臓器移植の推進に重要な役割を果たしている当団体への支援を行うことにより、臓器不全に苦しむ方々の根治治療である移植医療を推進していく。